

日本ロマンチック街道®

1988—NO'1

日本ロマンチック街道協会



目次

日本ロマンチック街道協会の概要	1 頁
日本ロマンチック街道について	2 頁
日本ロマンチック街道の見どころ	5 頁
加盟市町村の所在地及電話番号	7 頁

① 小諸市 9 頁 KOMORO	⑥ 草津町 14 頁 KUSATSU	⑪ 沼田市 19 頁 NUMATA
② 御代田町 10 頁 MIYOTA	⑦ 六合村 15 頁 KUNI	⑫ 白沢村 20 頁 SHIRASAWA
③ 軽井沢町 11 頁 KARUIZAWA	⑧ 吾妻町 16 頁 AGATSUMA	⑬ 利根村 21 頁 TONE
④ 嬬恋村 12 頁 TSUMAGOI	⑨ 中之条町 17 頁 NAKANOJŌ	⑭ 片品村 22 頁 KATASHINA
⑤ 長野原町 13 頁 NAGANOHARA	⑩ 高山村 18 頁 TAKAYAMA	⑮ 日光市 23 頁 NIKKŌ

日本ロマンチック街道協会の概要

- 名称 日本ロマンチック街道協会
- 会長 草津町長 山本 巖
- 所在地 群馬県吾妻郡草津町大字草津447番地
草津温泉観光協会内 ☎0279-88-3642
- 加盟市町村 15
- 設立年月日 昭和62年4月28日
- 日本ロマンチック街道の起点 長野県小諸市
- 日本ロマンチック街道の終点 栃木県日光市
- 日本ロマンチック街道の全長 230km
- 日本ロマンチック街道の特色

上信越高原国立公園と日光国立公園を結ぶ横断道路で、浅間・白根・日光白根などの火山が創り出した造形美、即ち高原、滝、湖沼、湿原を内蔵し、近世の城下町、温泉町、宿場町、門前町を通過する。日本に於ける最もドイツ的自然景観を持ち、近代日本の黎明期にドイツの大きな影響を受けた文化を持ち、同時に、日本ロマン詩人たちが多くの作品を残した日本に於いて最もロマンに溢れた街道である。

■日本ロマンチック街道について

長野県小諸市を起点として軽井沢町を過ぎ、群馬県草津町、沼田市を経て栃木県日光市に通ずる全長230kmの街道を日本ロマンチック街道と称する。

◆この街道を日本ロマンチック街道と呼ぶ理由は次ぎの如くである。

(1) ドイツロマンチック街道に範をとった。

西ドイツ・バイエルン地方のヴュルツブルグから、オーストリア国境のフッセンに至る全長362kmの街道をドイツロマンチック街道と呼んでいる。

(2) 日本で最もドイツに似た気候・風土をもっている。

特に浅間・白根・日光白根の造り出した高原地帯はドイツのフランクフルトなどの地方の気候に似ていて従って植生がよく似ている。(アカマツ、カラマツ、シラカバ、モミ、ナナカマド、シャクナゲ、アララギ、ハンノキ等)

(3) ドイツロマンチック街道にはドイツローマン派の詩人たちが住み、あるいはこの街道筋を訪れて作品を残しているが、日本ロマンチック街道も日本ロマンの歌人詩人たちが住み、または訪れていて多くの作品をのこしている。島崎藤村は小諸市で数年を住み、名作「千曲川旅情の唄」を残しているし、歌人若山牧水もここに滞在して多くの作品を残している。名作「みなかみ紀行」は小諸市を出発点として軽井沢、草津、沼田市、利根村、片品村を経て日光市を終点とする作品で日本ロマンチック街道はその全行程にあたる。また若山牧水は沼田市から高山村をへて長野原町の川原湯温泉に旅をしている。軽井沢町には昭和初期芥川龍之介を中心として堀辰雄、立原道造ら詩人たちがあつまった。室生犀星は自ら設計して詩碑を残し、北原白秋は有名

な「落葉松」の詩をのこしている。長野原町の北軽井沢には野上豊一郎、谷川哲三、田辺元、岸田国土などの文人たちが別荘村を作ったところで谷川俊太郎、岸田衿子、岸田今日子らの別荘がある。草津町には毎夏、草野心平らの主宰する「歷程」の詩人たちが集まりゼミナールが開かれている。また白沢村に児童文学者で詩人のおの・ちゅうこうが出ている。

- (4) 日本古代の英雄、ロマン詩人であった日本武尊の東征の経路にあたる。軽井沢町、嬬恋村、長野原町、草津町、六合村、中之条町、吾妻町、利根村、片品村には日本武尊に関する伝承が豊富に残されている。

- (5) この街道筋は近代の黎明期にドイツ文化の影響を強く受けている。

ドイツ人医学者エルヴィン・フォン・ベルツ博士は草津温泉の研究で著名であり、日光にも時々行き、御用邸はベルツのすすめで建てられたといわれている。群馬県吾妻郡中之条町・吾妻町にはドイツ人シーボルトの影響を受けた弟子たちが多く、シーボルトの愛弟子高野長英の影響を強くうけている。また嬬恋村が生んだ幕末の偉人中居屋重兵衛もシーボルトの影響をうけている。

- (6) 草津町の町民憲章はドイツロマンチック街道の中心ローテンブルグの城門に刻まれた言葉である。

「歩み入る者にやすらぎを、去りゆく人にしあわせを」(東山魁夷訳)

草津夏期国際音楽アカデミーは西ドイツベルリン音楽大学教授豊田耕児氏らドイツの音楽家たちによって企画されている。またベルツ博士の生まれた西ドイツ・ビューティヒハイム・ビッ

シンゲン市と姉妹都市を結んで25年になる。

- (7) 上信越高原国立公園と日光国立公園を結ぶ吾が国で最もエキゾチックでロマンチックな街道である。
- (8) ドイツロマンチック街道協会より姉妹街道としてドイツロマンチック街道の標識の寄贈を受けている。

◆日本ロマンチック街道の見どころ

城下町	小諸 沼田
門前町	日光
宿場町	軽井沢 沓掛 追分 小田井 中山
温泉町	菱野 星野 塩壺 小瀬 鹿沢 新鹿沢 草津 万座 湯の平 花敷 尻焼 沢渡 四万 川原湯 鳩の湯 薬師 温川 川中 松の湯 老神 片品 白根 丸沼 湯元 中 禅寺湖
峠	車坂峠 暮坂峠 権現峠 椎坂峠 金精峠
火山	浅間山 草津白根山 日光白根山
湖沼	雪窓湖 バラキ湖 田代湖 照月湖 草津白根湯釜 湯の湖 野反湖 尾瀬沼 丸沼 菅沼 湯の湖(日光) 中禅寺湖 西ノ湖
湿原	芳ヶ平 尾瀬ヶ原 戦場ヶ原
滝	白糸の滝 草津湯滝 吹割の滝 華厳の滝 龍頭の滝
溪谷	吾妻溪谷 白砂溪谷 吹割溪谷(片品溪谷)
川	千曲川 白砂川 吾妻川 利根川 片品川 大滝川 大谷川
高原	高峰高原 湯の平高原 軽井沢高原 浅間高原 嬬恋高原 草津高原 玉原高原 霧降高原
植物	小諸市 コモロスマレ 御代田町 ヤマユリ 軽井沢町 ハナヒョウタンボク アサマキスゲ アサマフロウ カルイザワテンナンショウ 草津町 アヅマシャクナゲ コマクサ ハクサンシャクナゲ 六合村 ノゾリホシクサ

孀恋村	コマクサ	
利根村	ヒカリゴケ	
片品村	ミズバショウ	シラネアオイ
日光市	ニッコウキスゲ	シラネアオイ
昆虫	小諸市	みやまもんきちょう べにひかげ みやま しろちょう まだらやんま
野鳥	軽井沢町・日光市	日本三大野鳥の生息地

■加盟市町村の番号及び事務所所在地

- 1) 小諸市 長野県小諸市相生町3-3-3
商工観光課 ☎0267-22-1700
- 2) 御代田町 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2
産業経済課 ☎0267-32-3111
- 3) 軽井沢町 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2381-1
観光商工課 ☎0267-45-8111
- 4) 嬬恋村 群馬県吾妻郡嬬恋村大字大前110
観光商工課 ☎0279-96-0511
- 5) 長野原町 群馬県吾妻郡長野原町長野原66
企画観光課 ☎0279-88-2244
- 6) 草津町 群馬県吾妻郡草津町草津28
企画観光課 ☎0279-88-3131
- 7) 六合村 群馬県吾妻郡六合村小雨577-1
農林観光課 ☎0279-95-3111
- 8) 吾妻町 群馬県吾妻郡吾妻町原町594
商工観光課 ☎0279-68-2111
- 9) 中之条町 群馬県吾妻郡中之条町中之条1091
商工観光課 ☎0279-75-2111
- 10) 高山村 群馬県吾妻郡高山村中山2856
企画課 ☎0279-63-2111

- 11) 沼田市 群馬県沼田市西倉内780
商工課 ☎0278-23-2111
- 12) 白沢村 群馬県利根郡白沢村高平1
産業建設課 ☎0278-53-2111
- 13) 利根村 群馬県利根郡利根村追貝
建設観光課 ☎0278-56-2111
- 14) 片品村 群馬県利根郡片品村鎌田3967-3
観光課 ☎0278-58-2111
- 15) 日光市 栃木県日光市御幸町591
観光商工課 ☎0288-54-1111
- ※ 事務局 群馬県吾妻郡草津町草津447
草津温泉観光協会 ☎0279-88-3642

■①小諸市 (KOMORO)

◆長野県小諸市相生町3-3-3

◆小諸市商工観光課 ☎0267-22-1700 〒384

◆標高 660m ◆人口 44,019人 ◆世帯数 13,569戸 (62/10/1)

◆日本ロマンチック街道の起点である長野県小諸市は近世の城下町で東信地方の商業の中心。懐古園の名の小諸城跡と島崎藤村の「千曲川旅情のうた」の詩碑と「小諸追分」で著名な市である。◆市内には旧本陣、旅人宿、商家などの古い建物が残っていて、島崎藤村の「千曲川のスケッチ」にでてくる一ぜんめし揚羽屋や、商業都市であったころからの問屋街がある。藤村が教鞭をとっていた小諸義塾、懐古園の中には藤村記念館、小山敬三美術館、徴古館がある。また若山牧水の「かたはりにあきくさのはなかなたるくほろびしものはなつかしきかな」の歌碑がある。俳人臼田亜浪の生誕の地であり、戦時中俳壇の巨匠高浜虚子が疎開していた。我が国洋画壇の巨匠小山敬三画伯(文化勲章受賞者)はこの町の旧家に生まれた。◆中山道に近く北国街道と甲州街道の交差する交通の要所で古く鎌倉時代に木曾義仲を支えた小室氏が築城したのが始まりとされている。武田信玄はここを重視し、智将山本勘助に命じて築城させた。付近には「牛にひかれて善光寺まいり」の物語で著名な行基菩薩開基の布引観音(国指定重要文化財)、市指定天然記念物「コモロスミレ」のある海応院、丸山晚霞の「釈迦八双図」のある玄江院などがある。また旧北国街道沿いの平原十念寺には一遍上人の道場跡があり、二十五菩薩来迎会は小諸市の指定文化財、荒掘の「夜明かし念仏」、本町の「ささら踊り」も同じく市指定の無形文化財。◆植物では小諸市ではじめて発見された「コモロスミレ」、昆虫では長野県では市村大池にのみ生息する「マダラヤンマ」浅間山で日本ではじめて発見された高山蝶「みやまもんきちょう」「べにひかげ」「みやましろうちょう」はいずれも県指定天然記念物で大切に保存されている。◆高峰高原には国民宿舎高峰高原ホテルほか三つの宿泊施設があり、冬はスキー、夏はキャンプと若者たちの人気をあつめ、浅間連峰の動物植物を始め、浅間山火山資料を展示した自然観察センターがある。また、チェリーパークラインには二十三基の文学碑が建てられている。

■②御代田町 (MIYOTA)

◆長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2

◆産業経済課林務商工観光係 ☎0267-32-3111

◆標高 838m ◆人口 11,746人 ◆世帯数 3,634戸 (62/10/1)

◆御代田町は小諸市と軽井沢町の間に位置する町で高原野菜の生産地としてレタス・キャベツ・白菜・ほうれんそうが栽培されている。また精密、食品工業などの工場誘地に成功して御代田駅付近を中心としてミネベアシチズン、オーシャンウイスキーなど50社近くの会社が進出している。役場はJR 御代田駅のある御代田にある。◆中山道と北国街道の交差するところで旧中山道に小田井の宿がある。日本橋から二十一番の宿で白壁に千本格子の家がむかしの面影をのこしている。ここは五軒の旅籠屋しかなかったので大名は追分の宿で泊まり、姫君の宿泊にあてられたことから「姫の宿」といわれた。また御代田の一里塚は県指定の史跡である。塩野にある真言宗智山派真薬寺は奈良朝時代からの名刹で、約1300年前に用明天皇の勅願寺として浅間山噴火の鎮めを祈願して創建されたという。源頼朝が建久四年(1193)、浅間の狩りのおりに四十二才の厄除けの祈願をしたともつたえられている。境内には棟数二十一の建造物がのこされている。また浅間山禅堂普賢寺がある。◆軽井沢に隣接しているので西軽井沢高原として別荘地の開発、森泉郷などの高原リゾートの開発も盛んにされている。200種10万株の菖蒲の浅間菖蒲園、標高830mの人造湖雪窓湖、湯川ダム、慶長年間に浅間山の噴火によって出来た湖が切れて美しい峡谷をつくった露切溪、大浅間ゴルフ場がある。また浅間登山のコースがあり、農林水産省草地試験場・農水省関東林木育種場がある。◆民俗行事としては真楽寺大沼池に伝わる竜神伝承による竜神まつりがあり、正月のどんどん焼きは十五日、山の神講が十七日、二十日には寒の水といって米、麦、粟、稗、黍の五穀の豊穰を祈って男衆が裸で水をかけあう行事が行なわれている。二月上旬の道祖神まつりは大型のわらで作った馬を車の台座に乗せて町内を子供が練り歩く。

■③軽井沢町 (KARUIZAWA)

◆長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2381-1

◆軽井沢町観光課 ☎0267-45-8111 〒389-01

◆標高 1,000m ◆人口 15,216人 ◆世帯数 4,691戸 (62/10/1)

◆観光客数 7,782,000人 (60年)

◆日本で最大のリゾートとして、また皇太子殿下と美智子妃殿下のロマンスの生まれた町として知られている。著名な政界、財界、文壇、芸術界の人々の避暑地。◆江戸時代、中山道の上州から信州へのはじめての宿駅で軽井沢村、沓掛村、追分村と浅間三宿として栄えた。明治19年、英国人宣教師アレキサンダークロフト・ショウ師が布教のために軽井沢を訪れ、その風土気候があまりにも故国スコットランドに似ていることに心を惹かれ、明治21年に大塚山に山荘を作り、広く内外の著名人に紹介したため別荘が徐々にたてられ今日の軽井沢となった。軽井沢宿であった旧道がそのままショッピング街として賑わいをみせ、東京の一流店が出店している。◆軽井沢には多くの文人たちが住み、内村鑑三が星野温泉で聖書の研究に没頭しているし、有島武郎が人妻波多野秋子と軽井沢の山荘で心中したことはあまりにも有名である。昭和初期、芥川龍之介を中心として堀辰雄、立原道造ら詩人たちがあつまった。室生犀星はここに山荘をもちみずから設計した詩碑を作っているし、北原白秋は「からまつ」の詩をつくっており、若山牧水は「落葉松の林の中のいで湯」を書いている。梅原龍三郎、小山敬三らの画壇の大御所も住み浅間山の優れた作品を残している。◆日本最古の木造西洋式ホテルとして国の重要文化財の指定を受けた三笠ホテルがあり、万平ホテルとともに日本のホテル史上重要な存在となっている。◆また軽井沢は奥日光、富士山麓とともに日本三大野鳥生息地として知られており、中西悟堂、星野嘉助らによって研究された。植物では国指定の天然記念物ハナヒョウタンボクやアサマキスゲ、アサマフウロ、カルイザワテンナンショウなどがあり、軽井沢で発見された植物は30種類におよんでいて、町立植物園がある。◆スポーツ施設として国土計画株式会社のスポーツセンターのスケートリンクは東京オリンピックの冬季会場となった。軽井沢プリンスホテルには人口雪によるスキー場がある。◆付近には日本武尊が東征のおり命の為に入水された妃の弟橘媛命を追慕されて「吾妻はや」と三度嘆かれたという碓氷峠がある。星野温泉、塩壺温泉、小瀬温泉があり、付近には白糸の滝、千ヶ滝の名所がある。

■④ 嬬恋村 (TSUMAGOI)

◆群馬県吾妻郡嬬恋村大字大前110

◆嬬恋村企画観光課 ☎0279-96-0511

◆標高 850m ◆人口 11,115人 ◆世帯数 2,921戸 (62/8/31)

◆妻恋うる村である。日本武尊が東征のおり、この村の吾妻川の上流の鳥居峠を越えられるときに弟橘媛命を追慕されて「吾妻はや」と嘆かれたという伝承によって名付けられた。浅間火山の爆発によって流れた溶岩流の「鬼押出し」と幕末勤皇の義商中居屋重兵衛の誕生地、朝日賞を受賞した特産高原キャベツは、著名である。村役場は大前にある。◆海拔1,000m以上は高原野菜の生産地として、特に高原キャベツは有名である。農林水産省の嬬恋馬鈴薯原々種農場がある。観光資源としては浅間・白根の両火山、海拔1,800mの高さにある万座温泉は薬効ある酸性泉として著名。鹿沢温泉、新鹿沢温泉が浅間連峰の麓にある。◆村の商業の中心は三原、幕末の勤皇の志士と活躍した中居屋重兵衛の生家「中居屋」がある。◆鎌倉時代からこの地方の支配者であった鎌原氏、下屋氏などの旧家があつて古文書がある。中居屋重兵衛の出た黒岩家は武州の豪族有道氏の分かれで太田道灌と親しい間柄であつた。文政年間に良寛が貞心尼とともに同家を訪れている。鎌原城に拠つて戦国時代に活躍した鎌原氏は真田幸隆の五男幸定であり、鎌原家は真田氏の家老職にあつた。また門貝には鎌倉時代の石文が残されており、天明三年の浅間山の大爆発で一村溶岩流によって埋没したことは著名である。鎌原には僅かに残された観音堂がある。観音堂を中心に嬬恋村教育委員会の手によって発掘が行なわれている。観音堂のそばに嬬恋村歴史民俗史料館がある。◆浅間火山の噴火によって出来た「鬼押出し」は火山学上世界的に著名である。◆土屋文明は昭和二十年七月三原を訪れて「上野の国の高みの三原むら朝ある雲を見ればしづけし」と歌い、石田波郷は「葛咲くや嬬恋村の字いくつ」、上村占魚は「嬬恋の紅葉をよしと来し吾ぞ」と詠じている。◆またスピードスケートの盛んな村で地元県立嬬恋高校から黒岩彰選手のほか、多くの選手を出している。

■⑤長野原町 (NAGANOHARA)

◆群馬県吾妻郡長野原町大字長野原66-3

◆長野原町企画観光課 ☎0279-82-2244 〒377-13

◆標高 600m ◆人口 7,226人 ◆世帯数 2,041戸 (62/10/1)

◆世界的な溪谷美をもつ「吾妻溪谷」と川原湯温泉、そして文化人別荘地のある北軽井沢がある町で、町役場は長野原にある。◆日本ロマンチック街道は軽井沢から峰の茶屋・六里ヶ原を経て北軽井沢に出る。ここは昭和の始めに開けた避暑地として著名である。軽井沢から草津に通じた草軽電車の中間地点として草軽電鉄が別荘地として開発した。法政大学の教授たちを中心とした法政大学村が核となった。野上豊一郎、谷川哲三、田辺元、岸田国士ら著名の文化人たちがあつまった。岸田国士はここを舞台に「善魔」「泉」などの小説がある。我が国最初のカラー映画、高峰秀子主演「カルメン故郷へ帰る」はここが舞台であった。付近に北白川宮が開いた浅間牧場がある。◆応桑には近世に「狩宿ノ関所」が置かれ、関東に鉄砲のいることと草津往還の取り締まりと江戸に住む諸大名の母や奥方、息女らが国元に帰ることを取り締まった。鎌倉時代、源頼朝が浅間の狩りを行なったときに御所をおいたという伝承のある御所平がある。又、この地方は木曾義仲の所縁の地で、狩宿には巴御前と和田義盛との間に出来た朝比奈三郎義秀の墓がある。戦後この地帯は満州からの引揚者たちが入植した開拓村が多い。「羽尾」は戦国時代信州の名族海野氏が拠ったところで真田幸隆に従い岩櫃城、沼田城を攻略し大功のあった海野長門守、海野能登守は海野氏の嫡流であったがのち真田昌幸に滅ぼされた。井上靖の「海野能登守自刃」という小説はこの羽尾を舞台にしている。草津往還の宿で美しい「せがい出し梁り造り」の建物がいまなお古い時代の面影をとどめている。◆長野原の町を過ぎると川原湯温泉駅にでる。川原湯温泉は江戸時代から栄えた温泉で一月二十日の湯かけ祭りは奇祭として名がある。歌人若山牧水はこの温泉と「吾妻溪谷」を愛して大正七年と九年の二度訪れている。牧水は昭和三年に若くして没しているが臨終のとき「溪の流れが」といったのはこの吾妻溪谷のことかと喜志子未亡人は言っている。近年、ダム計画により溪谷が大半水没することになり、惜しまれている。

■⑥草津町 (KUSATSU)

◆群馬県吾妻郡草津町大字草津28

◆草津町企画観光課 ☎0279-88-3131 〒377-17

◆標高 1,176m ◆人口 8,790人 ◆世帯数 2,889戸 (62/10/1)

◆観光客数 2,507,397人 (61年度)

※事務局 群馬県吾妻郡草津町大字草津477

草津温泉観光協会 ☎0279-88-3642 〒377-17

◆草津町は白根火山の東麓にあり、日本一の温泉・自然湧出量と日本一の泉質の良さを誇る温泉である。江戸時代わが国最大の温泉町として栄えた谷あいの町と戦後日本のリゾート開発の先駆として注目されている高原リゾート地帯がある。◆ドイツ人東大教授ベルツ博士は温泉地としての素材が優れている事を世界に紹介した。湧出量は1分間35,000リットル。酸度はP.H2.0の強酸性泉。◆町並みは昭和五十年ごろから「せがい出し梁造り」の建物の復元がなされ、滝下通り、泉水通りに再開発が行なわれている。この建物は前田青邸の代表作「湯治場」のモデルとなった。また、川端竜子は湯畑の湯煙りの中の石燈籠を題材として「霊泉由来」の名作を残した。長塚節、志賀直哉、若山牧水をはじめ多くの芸術家が作品を残している。◆我が国唯一の中央広場をもつ湯畑源泉、谷から温泉が湧きながれでている大露天風呂のある西の河原源泉。木曾義仲にゆかりのある地蔵源泉がある。◆殺生河原一帯には国指定の天然記念物アヅマシャクナゲ・ハクサンシャクナゲの自生地がある。◆日本武尊・行基菩薩・源頼朝が発見伝説に登場し、戦国時代は前田利家始め武将たちの湯治場となった。江戸時代は日本一の規模をもつ温泉場として栄え、小林一茶、十返舎一九、良寛らが訪れている。◆町営の健康増進センター大滝乃湯、世界的な熱帯動物のいる熱帯園、草津民俗館がある。◆温泉街を囲む高原地帯はドイツの温泉保養地をモデルとしてリゾート開発が行なわれ、ベルツの森地区、スクリバの森地区にはリゾートホテルや我が国で始めて誕生したペンション村がある。リクリエーションの森ではサイクリングやテニスが楽しめる。草津町と群馬県企業局が開発している谷沢原「音楽の森」はドイツの温泉保養公園を構想にもった開発が行なわれている。夏期草津国際音楽アカデミーが毎年世界的に著名な音楽家たちを中心に天狗山レストハウス特設会場で開かれている。◆冬はスキーリゾートとして知られ、天狗山ゲレンデなど六つのゲレンデ三コースがありスノーマシンによる造雪がおこなわれ11月よりスキー可能である。ラグビー・テニスをはじめスポーツのメッカをめざして開発がおこなわれている。

■⑦六合村 (KUNI)

◆群馬県吾妻郡六合村大字小雨577

◆六合村農林観光課 ☎0279-95-3111 〒377-17

◆標高 732m ◆人口 2,257人 ◆世帯数 625戸 (62/8/31)

◆六合村は白砂溪谷を挟んで傾斜する谷に部落が点在していて南北に細長い村である。鎌倉時代に木曾義仲の残党が移り住んだところで落人部落の民俗学上著名で、花敷温泉、尻焼温泉、湯の平温泉、応徳温泉があり、三国山脈の高山湖「野反湖」がある。村の経済は草津温泉、六合村温泉郷で働く人々が多く、近年奥草津のスキー場開発など観光立村をめざしている。◆明治33年までは草津村であった。建久4年(1193)3月、源頼朝は木曾残党の討伐のため浅間の狩りを催したが、これを許して湯本の姓と三日月の家紋を与えこの地方の地頭としたと言われている。湯本氏の家臣たちはこの地方の部落の一村と草津温泉の宿を一軒づつ賜り、いざ合戦というときは戦場に赴いたという。村は落人部落の伝承や民話が豊富に残され、その習俗、方言など民俗学の宝庫として日本的に著名である。◆長塚節が明治39年に草津温泉からここの花敷温泉に宿り、野反から信州秋山へ越えている。若山牧水は大正11年に草津温泉から花敷温泉に一泊し紅葉の中の暮坂峠を越えて「枯れ野の旅」の詩をのこした。暮坂峠には詩碑がある。村内に応徳温泉、露天風呂として名高い湯の平温泉、尻焼温泉がある。◆世立の「枝垂れ栗」は県指定の天然記念物、また鎌倉時代に湯本氏の本拠があったと思われる「小倉」には大桜がある。村役場のある「小雨」は江戸時代に草津温泉の宿の冬住の地で今にその建物が残されている。「赤岩」は草津領主湯本氏の本拠があったところで湯本氏の子孫が今に続いている。幕末に高野長英を匿まった長英の間がある。この部落は山村養蚕農家としての集落が美しく建築学者にとりあげられている。入山の「熊倉」に平安末期の大規模な遺跡が発掘されている。近くに戦時中に我が国最大の褐鉄鋼の生産地であった元山がある。戦時中ここから鉄索で太子まで出され、貨物で川崎の日本鋼管まではこばれた。近年鋼管興業株式会社では観光農業の開発に乗り出し畜産からハムの生産をおこなっている。六合村の名産は「まげもの」「花いんげん」の缶詰め、「まいたけ」などがある。

■⑧吾妻町 (AGATSUMA)

◆群馬県吾妻郡吾妻町大字原町594-3

◆吾妻町商工観光課 ☎0279-68-2111 〒377-08

◆標高 363m ◆人口 17,007人 ◆世帯数 4,552戸 (62/8/31)

◆吾妻町は関東三名城の一つとして、また真田氏の城として著名な岩櫃城のあった町である。昭和30年に原町、坂上、太田村、岩島村の四ヶ村が合併して出来た。農業が主体の町であるが近年工場が誘致され若者が通勤している。町役場は原町にある。◆原町地区は戦国時代から市のたったところで町の商業の中心である。岩島坂上地区は江戸時代からの麻の産地で、上質なものがとれたため遠く福井地方にまで出荷していたがいまは「こんにゃく」が中心である。近年りんごの栽培がさかんになっている。この町には、養蚕が盛んであった頃の名残の「せがい出し梁り造り」の美しい建物が多く残されている。◆郷原から出土したハート型土偶は、縄文時代の代表的芸術作品で国の重要文化財として指定されている。平安時代から吾妻郡の名城として知られる岩櫃城は信州村上氏の一族の居城であった。戦国時代には真田昌幸の居城として名高い。武田勝頼が滅亡前に真田昌幸の誘いで移ろうとしたところであるが勝頼は翻意して重臣小山田氏のすすめで韮崎にゆき小山田の謀反に合い天目山で果てたその後元和2年一国一城令によりその雄姿を消した。幕末高野長英が江戸伝馬町の火災で脱獄して、吾妻郡をめざして逃亡し、弟子の三島の高橋元貞のもとに隠れ、さらに中之条、沢渡、赤岩などの弟子たちの間にかくまわれのち越後を経て水沢にでている。坂上の大戸には近世に関所がおかれ、草津温泉の住還の旅人を取締った。上州の侠客国定忠治が関所破りの罪で処刑されたところがあり、忠治の霊を慰める地藏尊が祭られている。ここから近世を通じての関東一の分限者加部安左衛門が出た。◆温泉は温川沿いに源頼朝が浅間の狩りの折りに発見したという伝承を持つ鳩の湯があり近くには薬師の湯・温川の湯がある。これらを総称して浅間隠温泉郷という、松谷には川中の湯、松の湯がある。◆戦時中に我が国歌壇の大御所土屋文明は川戸に疎開した。歌集「山下水」はそのときの作品である。◆すばらしい溪谷美をもち、国指定名勝となっている吾妻溪谷は吾妻町にある。又、樹齢1,000有余年といわれる原町の大ケヤキは国天然記念物に指定されている。

■⑨中之条町 (NAKANOJÔ)

◆群馬県吾妻郡中之条町大字中之条1091

◆中之条町観光課 ☎0279-75-2111 〒377-04

◆標高 378m ◆人口 20,223人 ◆世帯数 5,651戸 (62/10/1)

◆中之条町は吾妻郡の行政の中心で財務事務所、教育事務所、税務署、簡易裁判所ほかがある。江戸時代初期より市のおかれたところであり、この地方の商業の中心である。昭和30年に中之条町、沢田村、伊参村、名久田村を合併した。沢田地区に四万温泉、沢渡温泉がある。町は観光を核とした農業、商工業の発展をめざしている。◆観光の中心は四方温泉、沢渡温泉で二温泉は古い歴史をもち四万は美しい四万川の溪谷にあって44軒の宿がある。日向見には国宝日向見薬師堂があり、また四万川の川底に開いた大きな欧穴は県指定の天然記念物となっている。文人たちが好んでおとづれた温泉で斎藤茂吉、土屋文明らが優れた作品を残している。また沢渡温泉は江戸時代草津温泉の「あがり湯」として「一浴玉の肌」と言われ美人の湯として、栄えた温泉地で幕末高野長英を匿った福田宗楨がいた。沢渡神社には万葉の歌碑があり、沢渡の相聞歌を刻んでいる。大正十一年に若山牧水が「枯野の旅」の詩をのこしている。◆町内に文化財が多く、大道峠の近くにある富沢邸は「入母屋造り」の民家として国の重要文化財の指定を受けている。中之条には県指定の重要文化財吾妻第三小学校があり、いまは中之条町歴史民俗資料館になっている。下沢渡の宗本寺には南北朝時代の宝篋印塔が二基と絹本着色二十五菩薩来迎図、山田の善福寺の金剛善光寺三尊仏は、いずれも県指定の重要文化財になっている。日本武尊の寵愛された吾妻姫を祭った吾妻神社、真田昌幸の叔父矢沢頼綱の開基の林昌寺、中之条の旧家鍋屋は江戸時代に著名人が訪れ、古文献がある。また四万川の川底に開いた大きな欧穴、市城の「さいかちの木」、親都神社の大ケヤキ、大岩の三又杉、大久保のナツグミ、駒岩のヒイラギも県指定の天然記念物である。県指定の重要無形民俗文化財として白久保のお茶講習俗、鳥追い祭の太鼓がある。◆地場産業として塚田農園のみやまワイン・梅の雫、沢田農協の漬物、沢田の吾妻味噌などがある。

■⑩高山村 (TAKAYAMA)

◆群馬県吾妻郡高山村大字中山2856

◆高山村企画課 ☎0279-63-2111 〒377-07

◆標高 525m ◆人口 4,235人 ◆世帯数 1,051戸 (62/10/1)

◆高山村は吾妻郡と利根郡の境に位置している。旧三国街道沿いに中山宿があり、本陣、脇本陣、問屋が残っていて村役場も中山にいる。村はゴルフ場の誘致、子持牧場の開発など観光と農業に力をいれている。◆中山は中世からの中山城のあったところで鎌倉時代に阿佐見氏が居城した。十二代経武の時、中山姓を賜り中山氏を称した。戦国時代に中山勘解由は真田昌幸に属したが北条氏直と戦い戦死するが弟中山九兵衛は北条につき、のち滅んだ。一族の一部は信州へ落ちたが中野へ落ちた中山氏から音楽家中山普平が出ている。現在中山城跡がある。尻高は尻高氏の居城があったところで江戸時代から続いている尻高人形が国選択の無形民俗文化財に指定されている。幕末から養蚕が盛んにおこなわれ大きな出し梁り造りの民家がある。◆県指定の天然記念物として泉龍寺の高野槇、赤芝の姉妹つつじ、中山三島神社杉並木がある。そして原の中山敷石住居跡は縄文時代の中期後半から後期前半のものとして重要文化財の指定を受けている。沼田市に通ずる権現峠には大正七年にここを越えた若山牧水の歌碑がある。北向観音堂は厄除け観音として著名、中山神社は延喜式内社。塩原太助が江戸へでるときに愛馬と別れを惜しみつないだという「馬つなぎの松」、吾妻郡で最古の名久多教会などがある。村内には38基の道祖神があり教育委員会で「高山村道祖神めぐり」をすすめている。◆村は観光開発に力を入れ、子持牧場を中心に自然休養村「みどりの村」の開発がおこなわれ、村営国民宿舎「わらび荘」やキジ牧場、バーベキューハウス、野外ステージ、テニスコート、バレーコート、遊具広場などの施設がある。また村内には上毛森林カントリー倶楽部、ノーザンカントリークラブ上毛ゴルフ場、高山ゴルフ倶楽部の三つのゴルフ場がある。

■⑪沼田市 (NUMATA)

◆群馬県沼田市西倉内町780

◆沼田市経済部商工課 ☎0278-23-2111 〒378

◆標高 416m ◆人口 47,885人 ◆世帯数 13,870戸 (62/10/1)

◆観光客数 800,000人

◆沼田市は利根郡の行政、教育、商業、工業の中心である。近世の城下町の都市構造がそのまま残された町である。真田氏の居城として知られている。

◆沼田真田氏は真田信幸を初代とし二代信吉、三代熊之助、四代信政と代々真田本家を継いでいるが五代信直の代に幕府によって断絶させられた。以後は本多氏、黒田氏を経て土岐氏が幕末まで居城した。築城は鎌倉時代からの沼田氏。沼田氏は平八郎のとき真田昌幸に謀殺されて滅んだ。市内には真田信之の妻小松姫の墓を始め、真田信吉・信直の墓など真田家ゆかりの人々の墓が多く残されている。沼田城跡公園は桜の名所で県の重要文化財の城鐘のある楼や石垣が名残をとどめている。江戸時代からの商家生方家の邸宅は国指定の重要文化財としてこの公園内に保存されている。◆「仏法僧」で有名な迦葉山弥勒寺は1,200年前慈覚大師によって開創された。名物「沼田まつり」は迦葉山中峰堂に奉納された長さ5.5m 鼻の高さ2.7m の大天狗の面を女性二百人がかつぎ二昼夜市内を練り歩くことで著名である。信州の名族海野氏の流れを汲む海野能登守父子が真田昌幸によって滅亡されたのはこの付近でそこに墓がある。◆沼田地方は近年りんごの栽培が盛んで「沼田りんご」として9月上旬から11月中旬までりんご狩りで賑わっている。◆薄根の大桑は国指定の天然記念物で、県指定の天然記念物として井土上町の荘田神社の大銀杏、石墨町の石墨大社宮の桜、中町の須賀神社の大けやき、下川田町の川田神社の大けやき、中発知町の発知の彼岸桜などがある。また県指定の重要文化財として三光院の十一面観音像があり、舒林寺には若山牧水の唐傘の歌碑がある。◆沼田市から22km、車で40分の玉原高原はブナの原始林に覆われ玉原湿原・玉原湖などがあり、キャンプ場、テニスコート、スキー場の開発が沼田市を中心に行なわれている。

■⑫白沢村 (SHIRASAWA)

◆群馬県利根郡白沢村高平1

◆白沢村産業建設課 ☎0278-53-2111 〒378-01

◆標高 560m ◆人口 3,360人 ◆世帯数 843戸 (62/10/1)

◆白沢村は沼田市に隣接する農村である。日本ロマンチック街道の利根村堺に眺めのよいことで知られる椎坂峠がある。ここから沼田の城下町や赤城、谷川、三国の山々が一望できる。また白沢村が生んだ望郷の詩人児童文学者「おの・ちゅうこう (1908～)」の詩碑がある。◆村のほぼ真ん中日本ロマンチック街道沿いに「うつぶしの森」がある。南北朝時代の武将新田義宗が足利氏の將上杉憲顕と50余日に及ぶ戦いの果てに敵の一矢に右目を射抜かれうつぶせに落馬して最後を遂げた。村人はその死を悼み神社を建て霊を祭りこの地を「うつぶしの森」と呼んだ。義宗の遺骸は近くの「雲谷寺」に葬られた。この寺には義宗をはじめその夫人、そして家臣の経政の墓もある。200年後この「雲谷寺」にかつての義宗の敵で上杉家の末えい関東管領上杉憲政が北条泰邦に敗れ隠れ住んでいたが後に三国峠を越えて越後の長尾景虎のもとに身をよせている。上杉憲政は景虎を養子として上杉謙信と名乗らせ関東管領職と上杉の家督を譲っている。上杉憲政は上杉謙信の没後に景勝と景虎との相続争いにまきこまれ誤って景勝の家臣に殺されている。無惨な最期を遂げた武将たちの悲話が今もこの地に残されている。また県道沼田・大間々線の片品川沿いには紅葉の名所「奥崎」がある。◆村は二つの地域に大別される。一つは日本ロマンチック街道沿いの生枝・高平・上古語父・下古語父の高台の上郷地区、もう一つは片品川右岸の岩室・尾合・平出の低地の下郷地区である。そしていずれも農業に力を入れている。米、こんにゃく、養蚕、野菜、乳牛の五種である。近年りんごの栽培も盛んになり観光農業の目玉となっている。◆椎坂峠の北1,100mの高原には27ホールの上毛高原カントリークラブがある。◆民俗行事として平出の歌舞伎、生枝の獅子舞がある。

■⑬利根村 (TONE)

◆群馬県利根郡利根村追貝37

◆利根村建設観光課 ☎0278-56-2111 〒378-03

◆標高 636m ◆人口 6,250人 ◆世帯数 1,774戸 (62/10/1)

◆観光客数 390,000人 (老神温泉61年度)

◆利根村は「吹割の滝」「老神温泉」がある村で、役場は追貝にある。◆「吹割の滝」は昭和11年に「天然記念物及び名勝」として国の指定を受けている。四季折々を通した風光明媚な景観で観光客を楽しませてくれる。この近辺の溪谷は上毛カルタで詠まれた片品溪谷である。◆「老神温泉」はむかし赤城山の神である蛇が日光の二荒山の神であるむかでと戦い傷を負い、ここにきて弓で地をついたら温泉が沸きでて傷を治したという伝説の温泉である。現在でも「老神温泉」の守り神として、長さ10mの大蛇をかつぎ温泉街をねり歩く「老神温泉蛇まつり」が5月7・8日と行なわれ人々に崇められている。昔から名湯として有名であり昭和40年建設の菌原ダムにより数軒の旅館が水没したが、対岸に近代的な建物となって移転された。現在22件の旅館がある。温泉街の内楽橋から眺める老神溪谷は特に美しい。毎年5月から11月まで老神温泉広場で行なわれている朝市はいつもにぎわい風物詩だ。また十二支を名付けた露天風呂めぐりも楽しい。村内にはペンション、民宿がある。◆日本ロマンチック街道から少し入ると村役場があり、追貝の集落が懐かしいたたずまいをみせている。そこから老神に抜ける散歩道もまた味わいがある。名刹海蔵寺や高戸谷の産土神社、追貝大国神社、沼田氏の家老金子美濃守一族墓所や美濃守の本像、古い石像や道祖神と地区毎にそれぞれ古今の文化を今に感じさせてくれる。吹割の滝の上流の浮島と呼ばれる岩頭に浮島観音堂があり中に左甚五郎が一夜でつくったとつたえられる観音像がある。◆この地方で新田一族が減びその靈魂を慰めるため小石に経文を書き埋めたという塚の松は、経塚の一本松といわれ樹齢約600年を超え天にそびえる県指定の記念物である。また、紅葉の美しい菌原湖はボートや釣りが楽しめる。そこから続く赤城山頂カラマツラインに県指定のヒカリゴケの自生地があり、エメラルド色に異彩を放っている。◆若山牧水が昭和11年秋老神に泊まったことが「みなかみ紀行」の中に書かれてある。「かみつけのとなゑの郡の老神の時雨ふる朝を別れゆくなり」の牧水歌碑もある。◆観光農園のりんご栽培が盛んで紅葉の映える中でのりんご狩りもまた一興である。

■⑭片品村 (KATASHINA)

◆群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3

◆片品村観光課 ☎0278-58-2111 〒378-04

◆標高 813m ◆人口 6,343人 ◆世帯数 1,685戸 (62/10/1)

◆観光客数 2,720,000人

◆片品村は武尊山の東麓、国指定の特別天然記念物尾瀬ヶ原、尾瀬沼、そして丸沼、菅沼があることで著名である。戦後スキーリゾートとして開発が行なわれ第40回冬季国体のスキー競技の会場となった。村役場は鎌田にある。◆日本武尊が東征のおり、通られたという伝承をもつ。鎌倉時代は大友氏の所領であったがのち沼田氏の所領となり戦国時代の天正年間に沼田氏は信州の真田氏によって滅され、真田領下の沼田藩に属している。天和年間(1681)代官支配の所領地となり、のち文化9年(1813)以後は旗本領となり、明治に至っている。

◆片品村には350面を越えるテニスコートを始め体育館、グラウンド等の体育施設があり、合宿・ゼミナール・林間学校などで盛んに利用されている。◆温泉も豊富にあり、尾瀬戸倉温泉、片品温泉、鎌田温泉、白根温泉、丸沼温泉と異なった趣をみせている。それぞれに民宿、ペンション、旅館があり好みに応じた利用ができる。◆スキー場は第40回冬季国体会場となった尾瀬岩鞍をはじめ、尾瀬戸倉、片品高原、丸沼高原、国設武尊スキー場、武尊オリンピックスキー場、武尊牧場の7スキー場を持ち12月中旬より滑走可能である。

◆日本ロマンチック街道沿いにもぎたての「とうもろこし」や新鮮な野菜を売る小屋がたち「とうもろこし街道」として親しまれている。そこから丸沼、菅沼の景観を車窓からながめてしばらく走れば栃木県との境となる金精峠へと出る。白根魚苑は二万坪の苑内でニジマス、ヤマメの養魚池があり釣りをたのしめる。◆特別天然記念物尾瀬ヶ原、尾瀬沼は日本が世界に誇る火山が作り出した湿原と沼である。燧ヶ岳の爆発によって溶岩などの火山噴出物が周囲の山山から流れ出る土砂が堆積して湖底を浅くして植物が侵入して出来たもので世界に比類のないものとして著名である。◆民俗行事として花咲地区で猿追いまつり、越本地区の鉄砲まつり、にぎりっくらまつりがある。

■⑮日光市 (NIKKÔ)

◆栃木県日光市御幸町591

◆日光市観光商工課 ☎0288-54-1111

◆標高 500~2,500m ◆人口 21,500人 ◆世帯数 6,700戸 (62/10/1)

◆観光客数 7,400,000人

◆日光市は、我が国を代表する日光国立公園の中心地であり、1,200年余の歴史を持つ多くの社寺跡群と多様な自然の二つの魅力を併せ持った観光地である。その歴史は古く、奈良時代末期に日光開山の基礎をつくった勝道上人に始まる。以後信仰の地としての歴史を歩み、日光二荒山神社、日光山輪王寺、そして江戸時代に創建された日光東照宮の二社一寺を中心とした門前町として栄える。それら社寺史跡には、国宝や重要文化財が数多くある。日光東照宮の陽明門、神橋、輪王寺三仏堂などがその代表であり、樹齢数百年を越える杉の巨木に包みこまれ、歴史の重みを漂わせた荘厳な景観を形づくっている。◆そこには、庶民信仰が根強く残る史跡を集めた滝尾神社コース、並び地蔵に代表される含満ヶ淵コースの、二つの史跡探勝路と歌碑句碑を結んだ文学碑散策路コースが設定されていて、歴史を肌で味わうことができる。◆一方、国立公園として保護され残された自然は、日光市にとってかけがえのない財産である。男体山、白根山などの山岳、中禅寺湖、湯ノ湖、西ノ湖などの湖沼、日本三名瀑の一つである華厳ノ滝をはじめとする多くの滝、戦場ヶ原湿原、小田代ヶ原草原霧降高原など地形が変化に富み、それに伴い動植物も多様な分布生態をみせる。まさに、自然の博物館と言える。◆その中を、いくつもの登山道やハイキングコースが整備されていて、たんなる観光だけでなく、樹木や野鳥のウォッチングなど質の高い自然観察を可能としている。その他、スキー、スケート、テニス、登山、フィールドアスレチック、ミニゴルフとスポーツを楽しむ施設も整備されていて、湯元温泉、中禅寺温泉、日光温泉のお湯につかりながらエンジョイできる。